

TZM50R

1994年 / 市販車

1990年代は12インチタイヤを付けた2ストロークミッション付きミニバイクレースが日本の各地で多く行われ参加障壁の低さから一大ブームとなっていた。

1986年に発売されたYSR50は、ファクトリーレーサーのYZR500をデフォルメ・縮小したモデルで、デザインの可愛らしさと車体の造りこみの良さで、当時のミニバイクレースの定番モデルとなった。

TZM50は水冷式単気筒クランクケースリードバルブ式エンジンに6速ミッションを搭載した本格派スポーツレプリカバイクとして開発された。

YSR50の開発時とは異なり、当時のファクトリーレーサーのTZ250Mを参考にしつつも、デフォルメ・縮小という手法は用いず、兄弟モデルのTZR50とのイメージの連携を図り、小さいながらもシリーズの末弟としてのレースに求められるシリアス感を強調したデザインとしてまとめられた。

1986 - YSR50



1991 - YZ250M



COMMUNICATION
P L A Z A